

協議会における今年度の検討項目

地域公共交通総合連携計画の策定にあたり、今年度はプロポーザルで提案のあった調査内容に基づき調査を進める。

なお、地域公共交通計画を具体化するには、公共交通の分野に限らず、道路・歩道等の交通施設整備（バリアフリー化などを含む）、土地利用の改編や都市計画、病院や商業施設などの施設整備、福祉施策など、他の分野の施策を合わせた総合的な観点からの検討が必要と考えられる。

表 本協議会における検討事項

地域の現況把握（人口分布、人口の年齢構成、商業施設や病院の立地状況、公共交通機関の整備状況）
生駒市民の交通実態の把握（アンケート調査に基づく外出先、外出目的、外出の時間帯、利用交通手段）
地域の将来見通し（将来の人口分布、将来の人口の年齢構成、公共交通を必要とする人の人数や地域分布、将来の土地利用計画、施設の整備計画など）
将来生じると考えられる問題点の整理（現状のまま放置した場合の問題点の整理）
目指すべき将来像の整理
目指すべき公共交通のサービス水準
地域公共交通計画の検討
公共交通サービス提供に関するルールづくり
事業実施計画の検討（優先的に整備すべき施策・地区の抽出など）
地域公共交通総合連携計画の策定